

イメージ品質

イメージ品質について問題がある場合は、以下を確認してください。

1. クリーニングおよびメンテナンスチャートの「業務の開始時」の手順を実行します。
2. アプリケーションの設定を確認します。
3. スレッシュホールドを使用する場合には、コントラスト値を低く設定するようにしてください。

注記：画像のキャリブレーションはスキャナから提示された場合または、ランプやイメージングガイドの交換時にのみにするべきです。それ以外に、キャリブレーションが必要な場合には、ユーザーガイドを参照してください。

消耗品*

CAT No.	説明
108 4755	フィーダ交換キット i600 用
842 6157	フィーダ交換キット i600 用ラージパック
134 3680	コダックフィーダ交換キットエクストララージパック
896 5279	薄紙専用フィーダキット i600 用
197 6703	イメージングガイドセット i1800/i600/i700 用
838 4885	インクカートリッジキャリア
135 5155	DP1 インクカートリッジ (10 個)
840 5425	プリンタインクプロッタ i200/i600 用
818 3386	エンハンスドプリンターブラックインクカートリッジ (9 個パック)
159 6832	エンハンスドプリンターレッドインクカートリッジ (9 個パック)
113 3842	コダック大容量インクカートリッジキャリア
169 0783	トランスポートクリーニングシート (50 枚)
853 5981	ローラクリーニングパッド (24 枚)
896 5519	静電クリーニングクロス (144 枚)
127 1436	キャリブレーションシート (5 枚)
894 9000	白バックグラウンドアクセサリ
163 4948	コダック マニュアルフィーダ
9E3357	i600 用バックアップイメージ (黒)

* 表中の品目は、変更される場合があります。

重要:

- ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。MSDS (製品安全データシート) の入手については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
- 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、MSDS (製品安全データシート) を参照してください。



コダック i600/i700 シリーズスキャナ



クイックガイド

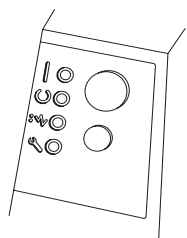
www.kodak.com

最寄りのコダック代理店まで
お問い合わせください。

〒 104-0033
東京都中央区新川 2-27-1
東京住友ツインビル
コダック株式会社
コマースイメーシング事業部

Rochester, New York 14650 U.S.A.
A-61501 / Part #9E7935_ja September 2007
© Eastman Kodak Company, 2007
TM: Kodak

オペレータパネルのLED



- LED インジケータ
- = 緑、電源
 - = 緑、レディ
 - = 黄、ジャム/ユーザ修復可能
 - = 赤、エラー

LEDの説明

色	名称	機能
緑	電源	点灯：スキャナの電源がオンです。 点滅：スキャナがランプセーブ状態またはスリープ状態であるか、内部イメージバッファがフルです。
緑	レディ	点灯：スキャナがレディ状態で、スキャン可能です。 点滅：スキャナがウォームアップまたはキャリブレーション中であるか、内部イメージバッファがフルです。
黄	ジャム	点灯：スキャナがユーザ修復可能なエラーを検知しました。 点滅：スキャナが紙詰まりまたは重送を検知しました。
赤	エラー	点灯：第6章の「トラブルシューティング」を参照し、修復可能なエラーかどうか確認してください。修復不可能なエラーの場合は、サービスセンターに連絡してください。

オペレータログの表示

赤のLED点灯

『ユーザーズガイド』の第6章「トラブルシューティング」では、問題解決チャートと共に、LED表示について説明しています。赤のLEDが点灯している場合は、オペレータログを確認してください。オペレータログには、SVT (Scan Validation Tool) を使用してアクセスできます。

コダックキャプチャソフトウェアを使用している場合は、[スキャナセットアップ]ダイアログボックスの[ログ]ボタンを選択することでオペレータログを確認できます。

クリーニングおよびメンテナンス

最適なイメージ品質を保つには、定期的にスキャナをクリーニングして予防的メンテナンスを施す必要があります。

注記： 原稿の種類によっては、ほこりやゴミが通常より多く発生するため、推奨するクリーニング頻度より頻りにクリーニングしなければならない場合があります。

以下は、コストがかさむ業務中のスキャン中断を防ぐ、推奨する予防的メンテナンス手順です。

クリーニングおよびメンテナンス手順

タスク番号/手順	業務の開始時	シフト中	新規シフトの開始時
3 出カトレイと入力部を掃除機でクリーニングします。	X		
5 すべてのローラをクリーニングします。	X		X
6 搬送部を掃除機でクリーニングします。	X	X	X
7 バックグラウンドストリップを取り外し、その下の部分を掃除機でクリーニングします。	X		
8 イメージングガイドを取り外してクリーニングします。	X		X
9 イメージングガイドの下を掃除機でクリーニングします。	X		X
16 搬送路クリーニングシートを通します。	X		X
18 イメージングガイドを布で拭きます。	X	X	X

クリーニングおよび消耗品の交換手順の詳細については、『ユーザーズガイド』の第5章「メンテナンス」を参照してください。

一部のクリーニング手順では、掃除機と付属品（小型ブラシやすき間ノズルなど）を使用する必要があります。

作業

- 1 スキャナの電源を切ります。
- 2 出カトレイを取り外します。
- 3 掃除機のブラシアタッチメントを使用して、出カトレイと入カトレイ（エレベータ）をクリーニングします。
- 4 ポッドを開けます。
- 5 すべてのローラ（上部および下部ローラ、フィードモジュールおよびセパレータモジュールローラ）をローラクリーニングパッド*でクリーニングします。ローラとプリセパレーションパッドの摩耗を確認し、必要に応じて交換します。
- 6 掃除機のブラシ付付属品を使用して、スキャナの搬送部をクリーニングします。この領域をクリーニングするときは、次の部分に特に注意してください。
 - ・搬送路の端
 - ・搬送路の正面付近にある反射テープ
 - ・ポッドの正面付近にある反射テープ
 - ・搬送路とポッドのベースにある3つの超音波センサ
- 7 上部および下部の黒バックグラウンドストリップを取り外し、この部分を掃除機でクリーニングします。終了したら、ストリップを再び挿入します。
- 8 上部および下部イメージングガイドからネジを取り外します。
- 9 掃除機のすき間ノズルを使用して、イメージングガイド部にあるほこりやゴミを取り除きます。特に、ランプの間にあるガラスプレートの部分を入念にクリーニングしてください。
- 10 静電クリーニングクロス*でイメージングガイドの両面をクリーニングします。
- 11 乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドを乾かします。
- 12 イメージングガイドの傷の有無を確認し、必要に応じて交換します。
- 13 イメージングガイドの両面を取り付けます。
- 14 ポッドを閉めます。
- 15 スキャナの電源を入れます。
- 16 搬送路クリーニングシートを搬送路に通します。
- 17 ポッドを開けます。
- 18 繊維くずの出ない布でイメージングガイドの表面を拭いてクリーニングします。
- 19 ポッドを閉じ、テストイメージをスキャンしてイメージ品質を確認します。

*裏面の「重要」に記載されている注意事項を参照してください。